

**1年生**

**先輩に学ぶプレゼン術**

1月3日（木）、本校卒業生の社会人13名と大学生15名をお招きし、毎年恒例の「先輩に学ぶプレゼン術」と「社会人と語る会」を行いました。

1年生対象の「先輩に学ぶプレゼン術」では、大学生のみなさんに各大学の特徴や現在従事している研究分野についてプレゼンテーションをしていただきました。1年生は大学生の実際の生活や研究について学んだだけでなく、相手によりよく伝わるプレゼンテーションのあり方について教わりました。

一方、2年生を対象とした「社会人と語る会」では、各界で活躍する卒業生のみなさんにはそれぞれのお仕事の内容や現在の社会状況についてプレゼンをしていただき、その後、生徒たちはグループにわかれて、出題していただいたテーマについてディスカッションを行い、最後に発表を行いました。



1年生感想：自分自身の経験を基に感じたことやそこから学んだことなどを伝えると説得力が増し、より人を引き込むプレゼンテーションになるのだと感じました。

2年生感想：9割以上が失敗という研究の中、そこから何を学ぶかということや、それがどれほど大切かわかった。私もこれからは失敗してもそこから目を背けることなく、分析し、次に繋げていきたいと思った。

**2年SGコース**

**京都大学思修館研修**

12月22日（木）に2年SGコースの生徒たちが京都大学思修館を訪問し、課題研究の取り組み状況について大学院生のみなさんに発表を行い、貴重な助言をいただくことができました。

6月の時点で一度オンライン交流をさせていただきましたが、1月のSGコース研究発表会も間近ということで、そのための最終調整として有意義な一日を過ごすことができました。

また、午後からは京都市内の企業・団体にも足を運び、研究のための広い視野を得ることができました。



**1・2年生希望者**

**第3回 未来を読むプログラム  
 JAXAから学ぶ宇宙の未来**

**～宇宙開発・ビジネスの課題と可能性～**

12月21日（水）にJAXA職員の渡戸満（わたんど みつる）氏によるオンライン講義を開講しました。

遠くない将来、宇宙は特別な人たちだけのものではなく、誰もがアクセスできる身近なものになっているかもしれません。一方で、宇宙開発が進めば、宇宙ゴミ問題や各国の覇権争い等、宇宙を舞台とした「社会課題」や「グローバル課題」も生まれることになるでしょう。新しい時代を迎える宇宙について、今回は、未来の宇宙開発や衛星の利活用など宇宙ビジネスの可能性という視点から「宇宙の未来」について学びました。

感想：宇宙に関わる産業は専門的で、JAXAなどの大きな組織しか関われないようなものだと思っていたけど、様々な産業と繋がりを持ち産業の活性化も推し進める役割を果たしていることができた。また、宇宙ゴミの問題や月・火星への移住についてなど、色々なことを聞けて勉強になった。